

世界かんがい施設遺産

じっかせぎ

拾ヶ堰

[長野県・安曇野市・松本市]

Jikkasegi Irrigation System

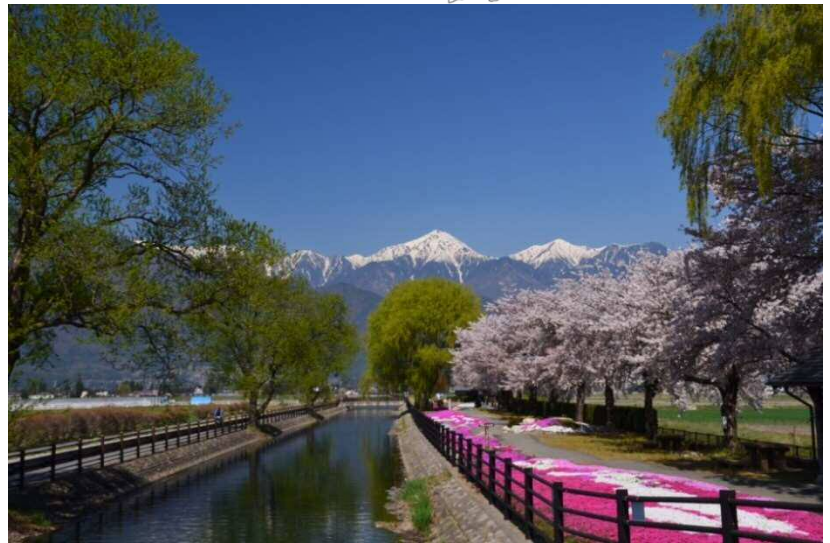
～高度な技術で安曇野の扇状地に用水を供給～



■1816年に開削された用水路で、当時の先進の水準器による綿密な測量が18日間で行われ、緻密な資金計画や作業計画のもと、延長約15kmの水路工事を3カ月という驚異的な短期間で完成。

■勾配方向に水を流す旧来の水路「縦堰」と異なる、等高線に沿って水路を通す「横堰」の発想で、不毛だった扇状地中央部への引水に成功。

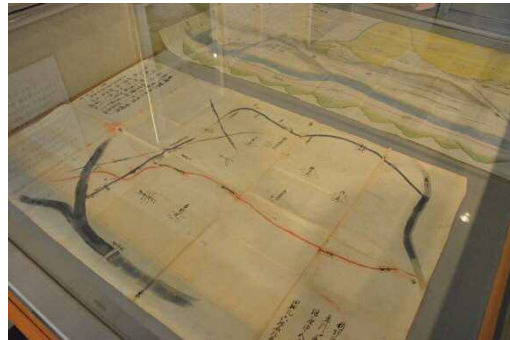
■約1/3000の緩勾配で河川や多くの既設水路を横断し、漏水や沈下対策として綿や稲わらをクッション材に使用するなど、現代の水路補修にも通じる様々な先進的技術を採用。



散歩やサイクリングなど、憩いの場としても活用される拾ヶ堰



河川横断部を平面横断からサイフォンに改修した当時の写真（大正9年）



開削計画に用いた当時の絵図（安曇野市豊科郷土博物館蔵）



奈良井川から取水する拾ヶ堰頭首工

問い合わせ先 長野県拾ヶ堰土地改良区 TEL.0263-72-2949